

**第475回 1月28日開催  
出席委員（50音順・敬称略）**

|        |       |
|--------|-------|
| 荒巻 裕   | 大村 英昭 |
| 木下 明美  | 黒田 勇  |
| 深井 麗雄  | 森 輝彦  |
| （書面参加） |       |
| 倉光 弘己  |       |

**テレビ報道番組**

「VOICE スペシャル2002」

02年12月27日（金）<第1部>午後4時50分～5時50分 放送

<第2部>午後6時19分～6時52分 放送

**\*荒巻委員**

問題意識と番組の構成がしっかりしていて、品格のあるニュース番組だった。具体的には、ドキュメンタリーの構成へのこだわりにより毎日放送ならではの持ち味が出ていた。また問題意識については、日本人被害者の話題に隠れて忘れがちな韓国人の拉致問題を取り上げた点を高く評価したい。

**\*黒田委員**

イメージしていた「VOICE」色が出始めたと思う。拉致問題へのアプローチの仕方は最高だった。関西が持っている資源を使って、関西独自の視点で関西エリアに伝えるという意味で、関西ローカルニュースのあり方を象徴的に表していたと思う。ただ法善寺横丁については、復興の涙というストーリーとは違う、町のあり方を問うようなアプローチの仕方があってもよかったと思う。

**\*木下委員**

キャスターは、男性、女性共に安定感と信頼感があって、若いキャスターがしっかり育っているなという印象を強く持った。ただ、女性キャスター全般に言えることだが、若くて新鮮だからということではなく、長い目で見て女性ジャーナリストとして自分の言葉でしゃべり、きちっと仕事ができる人を局の姿勢としてぜひ育てて行ってほしいと思う。

**\*深井委員**

ニュースをおもしろく伝えるためには、視点の違いが大切だと思う。凋落傾向にある法善寺横丁の食文化とは対照的に、今大阪で大きく伸びようとしている食文化がいくつもある。単に「法善寺横丁ガンバレ」という視点ではなく新しい食文化の創出と

いう視点で取り上げたら、もっとおもしろいものになったのではないか。

**\*大村副委員長**

阪神タイガースのコーナーだが、やはりプロ野球の話題はノスタルジックロマンに徹したほうがよいのではないか。飲み屋などでも昔のなつかしい話の方が大いに盛り上がるので、プロ野球には未来思考は必要ないと思う。逆に法善寺横丁については、復興というようなノスタルジーではなく、大阪の未来の食文化を担うような「新生法善寺」といった方向で取り上げてほしかった。

**\*森委員長**

拉致問題のとりあげ方は大いに評価できる。ソウルまで行って取材対象と一緒に、込み上げる感情を共有する姿がごく自然に出ていた点が非常に良かった。今後とも、日本と韓国の拉致の持つ意味の違いや目的などを取り上げ続けて行ってほしい。

**\*倉光委員（書面参加）**

法善寺横丁の復興を支援する様子や当事者ががんばっている姿を忠実に追っていたが、もっと掘り下げた話がほしかった。横丁には一般の人にあまり知られていないさまざまな歴史や文化が埋もれているので、もう少し色々な角度から話題を引き出したらもっとふくらみが出たと思う。

**「ラジオ冬季聴取率調査」の結果**

去年の12月に実施された関西圏のラジオ聴取率調査で、当社のラジオが3期連続で首位になったことなどをラジオ局長が報告した。